



2023年2月20日

**繰り返し使える店内グラス本格スタート**  
**3月末の全国1,500店舗導入に先駆け、2月20日(月)から約100店舗で提供**  
**サステナブルな選択肢で、リソースポジティブカンパニーの実現を加速**

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社[本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):水口貴文]は、廃棄物削減を目指す取り組みとして、試験導入していたフラペチーノ®などアイスビバレッジの店内利用時のグラス提供を、2023年3月末より全国の約1,500店舗※1で開始します。全国展開に先駆け、本日2月20日(月)から、東京・丸の内、銀座エリア、京都、静岡などの約100店舗で先行導入します。



※1:全国1,792店舗(2022年12月末時点)のうち、客席のない店舗や収納スペースの少ない店舗などグラス提供ができない店舗を除きます。なお、1,500店舗には、試験導入していた店舗と先行導入の約100店舗を含みます。

繰り返し使える店内グラスは樹脂製で2サイズあり、それぞれショート/トール、グランデ/ベンティに対応し、これまで同様のスターバックス体験を提供します。

店内グラス提供は2022年4月から、東京・渋谷エリア、大阪、愛知、福岡などの106店舗で試験導入し、検証を重ねてきました。お客様や店舗で働くパートナー(従業員)からのフィードバックをもとに、より薄く、目を引くデザインにし、持ちやすく飲みやすいグラスに仕上げました。

**■ 見た目を楽しみながら使い捨てカップ削減。オペレーション面でもポジティブな成果**

試験導入の際、お客様からは、フラペチーノ®やキャラメルマキアートなどの商品が「より美味しそうに見える」「グラデーションがきれい」といった声が寄せられました。いつものビバレッジを楽しみながら、環境負荷低減にも参加できる取り組みとしてご賛同いただき、多くの方にご利用いただいた結果、店内のリユース率が従来の9倍になった店舗や、ごみ捨て回数が半減したことでお客様と会話する時間に充てられた、といったポジティブな成果にもつながりました。



スターバックスのビバレッジに関する環境負荷低減の取り組みは、2020年1月により紙製ストローを段階的に導入し、2021年2月からプラスチックカップで提供していたアイスコーヒーなど一部アイスビバレッジをペーパーカップに切り替え、2022年6月には店内のアイスビバレッジのリッド(蓋)なし提供を全国でスタートしました。

店内で繰り返し使えるマグカップやグラス、マイタンブラーなどビバレッジを楽しみながら環境負荷低減につながるサステナブルな選択肢を提案し、お客様と一緒に大きな変化につなげていきます。スターバックスは、グローバル、および日本で掲げる、2030年までの廃棄物50%削減の目標に向けて、リユースやリサイクルの促進、サステナブルな素材への変更などを通して、地球資源を大切に活用し続けます。

◆ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996年に東京・銀座に日本第1号店を開業。全世界約80のマーケットで約34,000店舗以上、日本全国47都道府県において1,792店舗（2022年12月末時点、ライセンス店舗を含む）のコーヒーストアを展開しております。「人々の心を豊かで活力あるものにするために—ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」をミッションに掲げ、約4万人のパートナー（従業員）が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたまるひとときを提供しております。2019年2月28日には、世界5拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。全国に広がる、人・社会、地球環境、地域とつながりを育むストーリーは、「[STARBUCKS STORIES JAPAN](#)」で紹介しております。

お客様からのお問い合わせ先 0120-336-388

※間違い電話が多くなっておりますのでお気を付けください  
(10:00-18:00 年中無休、国際電話、IP 電話からは 03-5745-5890)